



社会保障フォーラムイン神奈川

～住宅セーフティネットのあり方を考えよう～

開会 受付 12:30～

第1部 基調講演 13:05-14:35

「住宅保障政策を問い直す」



略歴
1957年、神戸市生まれ。
神戸大学大学院修了。博士(学術)。
日本居住福祉学会会長。

著書 (共著)『居住福祉の論理』
(1993、東京大学出版会)、『居住福祉と生活資本の構築』
(2007、ミネルヴァ書房)、(共編著)『ケースブック 日本の居住貧困』(2010、藤原書店) 他

中京大学総合政策学部 教授
岡本祥浩(おかもと よしひろ) さん

第2部 パネルディスカッション 14:45-16:25

- ・岡本祥浩さん (中京大学総合政策学部 教授)
- ・林 星一さん (座間市福祉部生活援護課副主幹)
- ・松本 篤(あき)さん (NPO 法人ワンエイド 理事長)
- ・石塚 恵さん (NPO 法人ワンエイド 理事)
- ・斐安 (べいあん) さん
(NPO 法人かながわ外国人すまいサポートセンター)
(一社インクルージョンネットかながわ理事)
- ・土井裕明さん
(コーディネーター 社会保障問題研究会・弁護士)

閉会 16:30

2018年09月02日

参加無料／申込不要

時間 午後13時00分より午後16時30分まで

場所 神奈川産業振興センター
14階 多目的ホール

JR 関内駅北口より徒歩5分 JR 桜木町駅より徒歩7分

みなとみらい線馬車道駅 3番出口より徒歩7分

連絡先

神奈川県司法書士会社会問題対策委員会生活再建支援ワーキングチーム

神原史人 045-263-9653

全国クレサラ生活再建対策協議会 社会保障問題研究会水谷英二 052-916-5080

何が求められているのか

居住支援に

社会的弱者の

「住居は暮らしの器」と言われるように、適切な居住こそが幸せを実現します。

ところが、解雇され、職と住を同時に失う若者、入居先を確保できない高齢者などの住宅確保要配慮者が存在し、そうした方々は公的な住宅の供給が不十分であることなどから不安と悩みを抱えています。

また住宅セーフティネット法が改正されましたが住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録は進んでいないとも言われています。「住まいが生活の基本」であるべきなのに、多くの「住宅不安」がつくり出され深刻な社会問題となっています。

わが国の住宅セーフティネットはどうあるべきなのか、国・自治体の住宅政策の視点、生活者の視点で考えます。ふるってご参加ください。



共催 神奈川県司法書士会

全国クレサラ生活再建対策協議会 社会保障問題研究会